



今年、本社の屋根が40年ぶりにふぎ替えられ、以前のひわだぶきから末社と同じ銅板ぶきに。豪華な真新しい銅の輝きは、錆のない今しか見るとこのできないもの

北大路通沿いにある鳥居を抜けて徒歩5分ほど、この楼門が今宮神社の玄関口 (写真左上)

参拝に訪れる人々の多くは、楼門から境内へ入り、あぶり餅の香ばしい香りに誘われ東門から出て行く

テンブル・スイーツ
Temple sweets
シュライン・ティーブレイク
Shrine teabreak



慣れた手つきでと竹串に餅を絡めていく。「ご先祖様の時分からずっと変わらない手法でやっているから、今もやっていけるんでしょうね」。音も今もかわらない風景だ



炭火で炙り、良い感じにおこげが付いたら白味噌タレにつけて供される「あぶり餅」500円、持ち帰りは3人前1500円〜。竹串は生竹を割り、ひとつひとつ丁寧に作られる

香りに誘われ今宮神社を抜け
いつの時代も変わらぬ門前の

今宮神社の東門前、秋の観光シーズンや休日ともなると、このふわっと香ばしい香りが漂う参道はまるで縁日のように参拝者で賑わう。お目当てはもちろん名物・あぶり餅。参道を挟んで北側に「一和」、南側に「かざりや」があり、お互いに「ごっそく、お席は空いております」と客の呼び込みの音が飛び交い、賑わいに拍車をかけている。この風景も今宮神社の名物だろう。「二軒ある



「昔から同じ事を続けることほど、難しいことはおへんで。でもそれを守る事で、次の世代へしっかり繋がついていくんです」と24代目の女将さん。礼儀作法には手厳しいが、それこそが「和」が紡いできた歴史たる所以であろう

一和 いちわ

■京都市北区紫野今宮町69番地

2075-492-6852
X10:00~17:00/水休
(1日・15日が水曜の場合、翌日休)

今も昔も変わらず、等しく 人々の姿が映し出す崇敬の念

15分は経っただろうか。撮影時、秋雨に打たれる本社の前に微動だにせず祈願する参拝者の姿があった。祈願を終え、その参拝者は傘もささずに本社を後にしたのだが、よほどの祈願であったのだろうか。いや、秘めたる願いを掛けるのが神社、あれこれと参拝者の胸中を思索するなど不敬であった。疫病の神として知られる今宮神社は、このシーズンともなれば観光客で賑わいを見せるが、その一方で本社にあたる織姫社は織物の祖神を祀り、西陣の町衆からの崇敬が篤く、11月11日の「西陣の日」には業界をあげての式典が厳かに行われるなど、地域の氏神としての側面も持ち合わせている。「今宮さんに来ると落ち着くし、お散歩がてらに毎日来るの。だから60歳を越えても病気さえへんのかな(笑)」。偶然居合わせたご近所さんの言葉だ。そう言って彼女は東門から境内を抜けていった。門前で疫病除けにあぶり餅を食したかは定かではないが、こうして今も昔も変わらず、観光客も地域の住民も等しく、今宮神社の御利益に授かってきたのだろう。



今宮神社

いまみやみじんじや

■京都市北区紫野今宮町21
2075・491・0082 参拜■24時間可



かざりや

■京都市北区紫野今宮神社東門前
2075・491・9402
X10:00~17:30/水休
(1日・15日が水曜の場合 翌日休)
【平均予算】500円

品書きは創業以来
「あぶり餅」500円
のみ。持ち帰りは
3人前1500円~



からこそ呼び込みがあつて、活気がでるんでしょね。そう話すのは、「かざりや」の川池さん。一度に「和」と「かざりや」の両店を行ったり来たりする忙しい客もいるそうだが、もちろん「一和」と「かざりや」のどちらに優勢があるわけでもなく、「味はお客さんのお好みですね」と両店とも口を揃える。賑わいに心を奪われがちになるが、今宮神社の参詣の帰りに「あぶり餅を食し疫病除けをする」本来の姿、心持ちを忘れずに、軒先に腰掛けてひと息つきたい。

「骨の芯までいやされたわあ」と、 言わせてみせます私ども

京都CF!の編集スタッフとともにあなたも取材バスツアーに参加しませんか?「民話!?!」って思ったそのアナタ、そうです、モノの本質を見極めるにはその地に根付くお話を知らなくては真の京都ツウにはなれません。私ども京都CF!のインターシッブ生はそんな切符となりうる民話をお届けしたく、こうして皆さまをご招待させていただく次第となりました。大江山の酒呑童子のお話など、思わず身を乗り出して聞きたくなる民話を、「お話の会」の柿迫さんを招いてツアー道中にお話いただきます。詳細はツアーに参加してからのお楽しみ。普通のバスツアーではありません!観光旅行でもありません!あくまで京都CF!のオリジナルバスツアーです。



インターシッブ生企画



民話のさと

丹波のスローライフを訪ねて

〜京都市観光協会冬のツアー、一歩先取りの旅〜

京都駅(八条口)
8:00発

(高速)

大石酒造

穴太寺

丹波ワインハウス
[昼食]

スプリング日吉
[ソーセージ作り体験]

(高速)

京都駅(八条口)
17:00頃

1 大石酒造

試飲と蔵見学

元禄創業の大石酒造。ここの酒蔵では杜氏姿のイケメンが皆さまをお迎えます。某TV番組で、とある女性が思わず結婚を申し込んだという噂の彼です。伝統の樽酒の量り売りもしているので、価値あるある地酒の衝動買は必至。



2 穴太寺

西国33ヶ所第21番札所。本堂に安置されている釈迦涅槃像には「自分の身体の悪いところと同じ部分を撫でてお祈りすると、その病気が治る」という言い伝えがあります。



3 丹波ワインハウス

試食とランチ

ここではワインにぴったりの丹波食材を使用したランチをご用意しています。また、京都の一流料亭で愛飲されているワイン「鳥居野」にまつわる逸話や、ワインセミナーなどをお楽しみいただけます。



4 スプリングひよし

ソーセージ作り体験

このスローツアーの最後を飾るべく、ソーセージ作りを体験!世界初であろう壬生菜とミンチとのコラボを腸詰めしたり…。体験後は日吉ダム直下に湧く「ひよし温泉」でのんびりと過ごしていただきます。



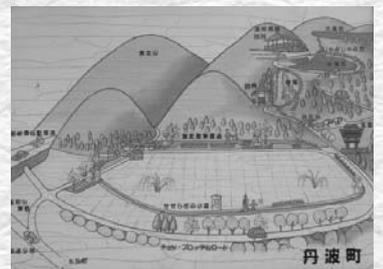
- 出発日:12月4日(日) 1日限定!!
- 時間:7:30集合、8:00出発~17:00解散予定
- 料金:お一人様¥9,800-
- 集合場所:京都駅八条口近畿ツーリスト前
- 募集人数:40名
- お食事場所:丹波ワインハウス内レストラン
- 昼食内容:丹波の食材を使ったプレートランチ
- 添乗員同行
- バスガイドは同行致しません。
- 6才未満の参加はご遠慮願います。
- 最少催行人数(30名)に満たない場合は旅行を中止いたします。
- 掲載日に満席または旅行中止の際はご容赦ください。
- 詳しい旅行条件を説明した書面を用意しておりますので、事前にご確認の上、お申し込みください。

【お問い合わせ・お申し込み先】

旅行企画・実施 国土交通大臣登録業20号
(社)日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員・旅行業公正取引協議会会員

近畿日本ツーリスト・京都イベントコンベンション営業所

京都市中京区河原町通三条上(近畿日本ツーリスト河原町ビル5階)
TEL 075・212・2024 電話受付 月~金 9:15~18:00(土・日・祝は休業)



主催 近畿日本ツーリスト
後援 京都市観光協会
大学コンソーシアム京都